

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	音楽②（器楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	2年			教科番号	2701	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標とする。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。幼児歌・実習園指定曲の弾き歌いの修得を目標にレッスンを行う。					
教材名	音楽・ピアノ教本（近畿大学教本） こどものうた100（チャイルド本社） 続こどものうた200（チャイルド本社） 授業内でプリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲1曲×5分の個人練習を行いましょ。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	試験対策練習
2	試験対策練習
3	試験対策練習
4	試験対策練習

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	音楽②（声楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	2年			教科番号	2702	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ/発声練習/コールユーブンゲン/コンコーネ/わらべ歌・手あそび・童謡/リズム/アンサンブル等、各項目のまとめ、及び、コンコーネ・コールユーブンゲンの試験。					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック ・リズムを聴いて、即座に模倣できる ・リズム譜を見て、正確に打つことができる ・簡単なリズムを創作することができる ・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる ・拍子を感じて歌える フレーズを感じて歌うことができる ・曲のニュアンスをやま場を感じて歌うことができる ・伴奏付けに必要な、和音・コードネームを理解する ・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる</p> <p>表現力 ・自ら音楽を楽しんでいる ・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある</p> <p>指導力 ・子どもを音楽にひきつける力を持っている ・コミュニケーションの力がある・遊びを促す合図や、展開ができる ・弾き歌いができる</p>					
教材名	音楽 I 《声楽教本》※併用教材(「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」/チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた/成美堂出版)/その他、必要に応じてコピー配布					
資格の取得目標	保育現場で、すぐに実践できる音楽技術・表現力・指導力を身に着けること。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験					
履修にあたっての留意点	各自、積極的に授業を受け、実践し、保育のための音楽面の基礎力・テクニック・表現力・指導力において、各自の課題を見つけ努力し、成果が見られること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
3	試験曲個人レッスン。授業の補足事項。
4	声楽試験の実施。授業の補足事項とまとめ。

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	ピアノレッスンⅢ	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	2年			教科番号	2703	単位数 3.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標とする。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。幼児歌・実習園指定曲の弾き歌いの修得を目標にレッスンを行う。					
教材名	音楽・ピアノ教本（近畿大学教本） こどものうた100（チャイルド本社） 続こどものうた200（チャイルド本社） 授業内でプリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲1曲×5分の個人練習を行いましょ。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	①おはようのうた ②あさのうた ③おべんたうのうた ④おかえりのうた ⑤さようならのうた
2	①おねむりのうた ②はをみがきましょう ③どこでしょう
3	①おねむりのうた ②はをみがきましょう ③どこでしょう
4	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ
5	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ
6	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ
7	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
8	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
9	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
10	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
11	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
12	①かえるのうた ②かたつむり ③あまだれポットン ④あめふりくまのこ ⑤とけいのうた ⑥ことりのうた ⑦おつかいありさん ⑧ありさんのおはなし ⑨セタ ⑩実習園課題曲
13	①おはようのうた ②あさのうた ③おべんたうのうた ④おかえりのうた ⑤さようならのうた
14	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
15	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
16	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
17	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
18	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
19	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火
20	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火 ⑩実習園課題曲
21	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火 ⑩実習園課題曲
22	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火 ⑩実習園課題曲
23	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火 ⑩実習園課題曲
24	①虫の声 ②大きな栗の木の下で ③やきいもグーチャーパー ④まつぼっくり ⑤とんぼのめがね ⑥どんぐり りころころ ⑦バスごっこ ⑧山の音楽家 ⑨たき火 ⑩実習園課題曲
25	試験曲公示
26	試験対策練習
27	試験対策練習
28	試験対策練習

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	声楽レッスン	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	2年			教科番号	2704	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ／発声練習／コールユーブンゲン／コンコーネ／わらべうた・遊び歌・童謡／リズム／楽器奏法・アンサンブル					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを聴いて、即座に模倣できる・リズム譜を見て、正確に打つことができる ・簡単なリズムを創作することができる・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる ・拍子を感じて歌える フレーズを感じて歌うことができる ・曲のニュアンスをやヤマ場を感じて歌うことができる・伴奏付けに必要な、和音・コードネームを理解する ・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる <p>表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら音楽を楽しんでいる・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる ・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある <p>指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを音楽にひきつける力を持っている・コミュニケーションの力がある ・遊びを促す台図や、展開ができる ・弾き歌いができる 					
教材名	音楽Ⅰ《声楽教本》※併用教材(「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」/チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた/成美堂出版)/その他、必要に応じてコピー配布					
資格の 取得目標	幼児の模範となる自然な発声と発音、正確な読譜・音程・リズム 幼児と音楽を楽しく共有するに相応しい、コミュニケーション能力、及び豊かなイメージや感性を伴った音楽表現力					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験					
履修に あたっての 留意点	授業のポイント、自分に必要と思われるポイントのメモを取ることも評価の対象とする。授業の復習が行われているかどうか、評価の対象とし、実践力の定着を図る。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン シンコーネNo.4/童謡/アンサンブル
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 上拍/コンコーネNo.4/童謡/アンサンブル
3	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 6度音程/コンコーネNo.4/童謡/アンサンブル
4	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 6度音程/コンコーネNo.5/童謡/アンサンブル
5	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 6度音程/コンコーネNo.5/童謡/アンサンブル
6	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 7度音程/コンコーネNo.5/童謡/アンサンブル
7	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 7度音程/コンコーネNo.6/童謡/アンサンブル
8	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 7度音程/コンコーネNo.6/童謡/アンサンブル
9	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 長調・短調・転調/コンコーネNo.6/童謡/アンサンブル
10	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 長調・短調・転調/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
11	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 長調・短調・転調/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
12	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲決める/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
13	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
14	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
15	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル
16	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	社会福祉	
コース名	幼児保育コース			担当者	森下	
学 年	2年			教科番号	2706	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	子どもの保育、教育に携わる人材となるために必要な社会福祉の知識について幅広く学ぶ。					
到達目標	①現代社会の状況を踏まえ、人々が直面する生活課題について説明できる。 ②社会福祉の様々な法制度、実施体制について説明できる。 ③生活課題に対して活用できる社会福祉サービスについて説明できる。 ④社会福祉専門職として、保育士はじめ他の専門職の役割について説明できる。					
教材名	『八訂保育士をめざす人の社会福祉』相澤譲治・杉山博昭編 みらい配布プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保健所にて発達相談員経験を有する					
履修に あたっての 留意点	学期末試験を実施する。講義で扱うさまざまな法制度やサービスと関連して考察できるよう、時事問題に関心を持って授業に臨むこと。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	70%	0%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育と社会福祉 さまざまな社会福祉サービス利用者の状況について
2	日本における私たちの生活をめぐる現状と家族状況の変化について
3	社会福祉の歴史について 慈善救済から社会事業までの歴史の変遷
4	社会福祉の歴史について 戦後の社会福祉の歴史の変遷
5	社会福祉の意味と考え方 狭義広義の社会福祉という意味、社会福祉の法体系
6	社会福祉の実施体制 社会福祉の公的機関と民間団体、サービスの種類、利用方法
7	社会保障制度 社会保障制度の意義と体系、社会保険の役割
8	社会保障制度 年金保険、医療保険、労働保険の概要
9	公的扶助 生活保護制度の概要、生活保護制度の原理、原則
10	公的扶助 生活保護制度における保護の基準と種類、社会手当
11	子ども家庭福祉 権利主体としての子どもについて、子どもをふくむ家族に対する支援の視点
12	子ども家庭福祉 児童福祉施設について、次世代育成支援、児童虐待について
13	障害者福祉 社会における障害のある人のとらえ方の変遷、ノーマライゼーション思想、障害のとらえ方
14	障害者福祉 障害のある人の定義と福祉サービス及び施策
15	高齢者者福祉 高齢化の進展と高齢者の生活課題について
16	高齢者者福祉 高齢者の福祉サービス、介護保険制度
17	地域福祉 地域福祉推進を担う機関と担い手について、利用者保護の仕組み
18	社会福祉の専門職 様々な福祉専門職制度と役割及び専門職倫理
19	授業のまとめと重要事項の再確認
20	試験

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	児童家庭福祉	
コース名	幼児保育コース			担当者	野澤	
学 年	2年			教科番号	2707	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<p>児童の権利条約が国連で採択された後も、児童の貧困や虐待等、児童の権利侵害の事例は依然として後を断たない。児童家庭福祉では、児童家庭福祉の歴史的変遷、現状と課題、動向と展望のほか、児童の権利や発達を保障するための児童福祉の仕組み、諸制度、援助の方法など、保育者として必要となる児童家庭福祉に関する内容が体系的に学べるように進めていく。また、福祉施設での実習も念頭に置き、現場で役立つ知識の習得を目指す。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 2. 児童家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権について理解する。 3. 児童家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 4. 児童家庭福祉の現状・課題・動向・展望について理解する。 					
教材名	適宜プリントを配布					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	これまで、大学や短大で児童家庭福祉の科目を教授したことがある教員が、児童家庭福祉の科目を担当する。					
履修に あたっての 留意点	毎回の授業において児童家庭福祉領域において重要な事項を説明するため、休まず出席すること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	0%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーションー児童家庭福祉領域への誘いー
2	児童家庭福祉の理念と権利保障
3	児童家庭福祉の現状と課題(1)ー子育て支援の現状ー
4	児童家庭福祉の現状と課題(2)ー健全育成ー
5	児童家庭福祉の現状と課題(3)ー児童虐待問題を中心にー
6	児童家庭福祉の現状と課題(4)ー児童虐待問題を中心にー
7	児童家庭福祉の現状と課題(5)ー社会的養護を中心にー
8	児童家庭福祉の現状と課題(6)ー施設養護の実際ー
9	児童家庭福祉の現状と課題(6)ー障害児、少年非行を中心にー
10	児童家庭福祉に関する法律と歴史的展開(1)
11	児童家庭福祉に関する法律と歴史的展開(2)
12	児童家庭福祉の実施体制と財源、児童家庭福祉の関連法(1)
13	児童家庭福祉の実施体制と財源、児童家庭福祉の関連法(2)
14	子ども・家庭を取り巻く関連諸機関・施設(1)ー関連機関ー
15	子ども・家庭を取り巻く関連諸機関・施設(2)ー関連施設ー
16	児童家庭福祉サービスの担い手と相談援助(1)
17	児童家庭福祉サービスの担い手と相談援助(2)
18	児童家庭福祉の展望
19	試験
20	総括ー児童家庭福祉の意義を考えるー

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	児童家庭福祉Ⅱ	
コース名	幼児保育コース			担当者	野澤	
学 年	2年			教科番号	2708	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	児童家庭福祉で学習した基本的事項を踏まえ、専門職としてより深い学びを行う。特に、子育て支援と子どもの権利の2つの事項を深める。子育て支援では、各自治体における子育て支援施策を具体的に調べ、発表・検討する。子どもの権利では、子どもの権利条約を子どもにとってわかりやすい条文になるよう整理・検討する中で、子どもの権利の理解を深める。以上の内容を通じて、子どもや家庭の理解、福祉専門職のあり方を考える。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童家庭福祉の基本的理念、歴史的変遷、法制度や実施体制等を理解する。 2. 子育て支援について、法制度や対策、現状、今日的課題を理解する。 3. 子どもの権利について理解するとともに、子どもや家庭支援の今日的課題を理解する。 					
教材名	適宜プリントを配布					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	これまで、大学や短大で児童家庭福祉の科目を教授したことがある教員が、児童家庭福祉の科目を担当する。					
履修に あたっての 留意点	毎回の授業において児童家庭福祉領域において重要な事項を説明するため、休まず出席すること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	60%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション: 児童家庭福祉の意義を考える
2	児童家庭福祉(1)の振り返り
3	児童家庭福祉にかかわる法制度
4	子育て支援の現状、定義、対策、法制度
5	子育て支援(1): 各自治体における子育て支援施策(調査方法の説明と準備)
6	子育て支援(2): 各自治体における子育て支援施策(調査)
7	子育て支援(3): 各自治体における子育て支援施策(整理・検討)
8	子育て支援(4): 各自治体における子育て支援施策の発表・検討
9	子どもの権利(1): 子どもの権利条約の概要
10	子どもの権利(2): 子どもの権利条約の要約
11	子どもの権利(3): 子どもの権利条約の検討
12	子どもの権利(4): 子どもの権利条約の発表準備
13	子どもの権利(5): 子どもの権利条約の発表とまとめ
14	児童福祉施設(1)準備
15	児童福祉施設(2)現場の理解
16	児童福祉施設(3)現場の理解
17	児童福祉施設(4)現場の理解
18	児童福祉施設(5)振り返りとまとめ
19	試験
20	総括ー子育て支援と子どもの権利を考えるー

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育原理	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	2年			教科番号	2709	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育の意義についての認識とその依拠する原理及び保育の基本を理解する。そこから、子どもを慈しみ温かみのある保育観を身につける。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義について明確な認識をもち、その依拠する原因を理解する。 ・ 保育の場について、その歴史と類型について理解する。 ・ 保育所における保育の原理と特性、環境、方法について理解する。 ・ 発達過程区分における保育の内容について理解する。 ・ 保育所における保育の健康・安全について理解する。 ・ 保育所における多様な保育ニーズについて理解する。 ・ 保育所と家庭、地域との連携について理解する。 					
教材名	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点	近畿大学九州短期大学の科目終末試験とレポート科目の為、合格を目指す。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	40%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	レポート作成の手順の確認
2	人間の子どもになぜ保育が必要なのか学ぶ
3	ルソーの人間育成について学ぶ
4	ルソーの子どもに対する捉え方と特徴について学ぶ
5	啓蒙思想家ルソーの思想とその思想が近大幼児教育に与えた影響について
6	人間の子どもになぜ保育が必要なのか700字で記述し説明する
7	ルソーの子どもに対する捉え方の特徴と彼の思想が近大幼児教育に与えた影響について700字で記述し説明する。
8	日本における保育内容の変遷をまとめる。
9	戦後の保育内容の捉え方の特徴を明らかにする。
10	自由保育について学ぶ。
11	自由保育の現場を見学・観察する。
12	一斉保育について学ぶ。
13	一斉保育の現場を見学・観察する。
14	わが国の保育内容の変遷を概観し、戦後の保育内容の捉え方の特徴を700字で記述する。
15	自由保育と一斉保育について700字で記述する。
16	レポートの清書作成。
17	保育の内容構成の基本方針
18	ねらい・内容・領域
19	保育の計画作成上の基本的視点
20	保育計画と指導計画

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			社会的養護内容		
コース名	幼児保育コース W1		担当者	割田修平		
学 年	2年		教科番号	2710	単位数	1.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	養護施設に焦点をあてて、各種児童施設における目的と機能を理解し、職務の内容や論理を学習することを目的とする					
到達目標	<p>児童福祉施設における社会的養護の意義を理解しながら、実際の事例を通して、子どもの心身の成長や発達を保障するための基礎的な考え方、方法、そして内容を考える。</p> <p>社会的養護の原理と原則を踏まえて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護施設の機能と役割を説明できる 2. 自立支援計画や養護の計画を作成できる 3. 事例を通して、施設保育者の役割と意義を学び、自らの意見を述べることができる <p>ことに重点を置く。</p> <p><授業の目標></p> <p>社会的に子どもを保護する施設では、子どもの人権擁護を基本として、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっています。このため、（1）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（2）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（3）児童福祉施設などにおける養護の実態を理解し、児童観や施設養護観を養うことを目標とします。</p>					
教材名	社会的養護 I（中央法規）					
資格の 取得目標	保育士資格					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	民間の保育園を経営している					
履修に あたっての 留意点	基本となるの児童福祉法他関連法令に基づく社会的養護の必要性や在り方の学習に加え、近年の保育所待機児童問題、幼児保育無償化などの動きを背景にとくに保育の質に焦点が当てられているなか、現場で着実に必要となる保育士としての資質について、現場の声をできるだけ織り込んだ実践・臨床に役立つ内容としたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	20%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	児童福祉施設における児童養護(援助)
3	児童福祉施設における子どもの心の理解(1)
4	児童福祉施設における子どもの心の理解(2) 具体例を通して学ぶ
5	児童福祉施設における養護(援助)の理念
6	児童福祉施設における養護(援助)の内容(1)
7	児童福祉施設における養護(援助)の内容(2) 具体例を通して学ぶ
8	各児童福祉施設における具体的な養護(援助)の内容
9	家庭支援の基本とその内容(1)
10	家庭支援の基本とその内容(2) 具体例を通して学ぶ
11	児童福祉施設における社会的養護(援助)の課題
12	まとめ～課題

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児体育	
コース名	幼児保育コース			担当者	鈴木	
学 年	2年			教科番号	2711	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の発育、発達の特徴をふまえた運動遊びを考え、指導する ・ 遊びのバリエーションを増やす 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具を使用しない様々な運動遊びを考え、指導出来る ・ ボールを使用した運動遊びを考え、指導出来る ・ フラフープを使用した運動遊びを考え、指導出来る ・ なわを使用した運動遊びを考え、指導出来る ・ 音楽に合わせた幼児の体操を覚えて指導出来る ・ パラバルーンの特性の理解と実演 ※体を動かす楽しさを体感する					
教材名	ボール、パラバルーン、フラフープ、なわ、その他（バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	日本健康運動指導士会で健康運動支援士としての経験					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	・幼児期の発育、発達の特徴について・基本運動(歩く、走る、跳ぶ)を中心とした運動遊びの実践・いろいろな鬼ごっこ
2	・エアロビクスダンス(ウォーミングアップ)・幼児の体操(ディズニー体操)・スポーツレク
3	・ボールの特性の理解、ボールを使用した運動遊び・なわの特性の理解、なわを使用した運動遊び・フラフープの特性の理解、フラフープを使用した運動遊び・パラバルーンの特性の理解と実演
4	・エアロビクスダンス(ウォーミングアップ)・幼児の体操(ディズニー体操)・スポーツレク・パラバルーンの特性の理解と実演
5	・エアロビクスダンス(ウォーミングアップ)・幼児の体操(ディズニー体操)・スポーツレク
6	・運動遊びの指導案の作成
7	・エアロビクスダンス(ウォーミングアップ)・幼児の体操(ディズニー体操)・スポーツレク
8	・作成した指導案に基づき運動遊びを指導する

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	家庭支援論	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	2年			教科番号	2712	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	現代の「子育て家庭」の形態は多種多様であり、それを援助する保育者にも多様な知識や見解が必要とされる。また「子育て家庭」を取り巻く保護者や専門機関、地域住民とパートナーシップを築き子育てに携わっていく必要がある。そのため本講義では家庭支援がなぜ今必要なのかを理解するとともに保育者に求められる支援方法などを学ぶ。さらに自分の住む地域の子育て支援について学び、それを発表する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、実施されている家庭支援にはどのようなものがあるか知り支援方法を学ぶ。 ・ 家庭支援とは何かの問いに自分なりの答え・考えをもてるようにする。 ・ 専門機関ごとの家庭支援について、説明をレポート形式で述べるができる。 					
教材名	橋本真紀・山懸文治(編)「よくわかる家庭支援論」 ミネルヴァ書房					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点	近畿大学九州短期大学の科目終末試験とレポート科目の為、合格を目指す。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	40%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	・授業の進め方を相談する ・課題、レポートについての説明
2	・自身にとっての家族、家庭とは何か
3	家族の形態について学ぶ 「レポート設題集1冊目に対応」
4	家族の機能について学ぶ 「レポート設題集1冊目に対応」
5	家族を取り巻く地域社会について学ぶ 「レポート設題集1冊目に対応」
6	「レポート設題集1冊目に対応」 レポートの書き方・回答の指導
7	家族・家庭支援が求められる背景と意義について学ぶ 「科目終末試験問題集 選択問題1に対応」
8	現代の家庭支援と家族支援の基本的理念・支援方法について学ぶ
9	虐待的な家庭の背景を学び、どのような支援が必要なのか学ぶ
10	調べ学習：発表；MY TREEペアレンツプログラム「科目終末試験問題集 指定問題に対応」
11	調べ学習：発表；MY TREEペアレンツプログラム「科目終末試験問題集 指定問題に対応」
12	家庭支援における保育士の役割について学ぶ 「科目終末試験問題集 3に対応」
13	保育所保育指針と幼稚園教育要領における家庭支援について学ぶ 「科目終末試験問題集 3に対応」
14	保育所と幼稚園における家庭支援の姿勢について学ぶ 「科目終末試験問題集 7に対応」
15	保育所と幼稚園における家庭支援の方法について学ぶ 「科目終末試験問題集 7に対応」
16	ひとり親家庭への支援について学ぶ 「科目終末試験問題集 7に対応」
17	家庭支援という視点からの保育業務について学ぶ 「科目終末試験問題集 7に対応」
18	在宅子育て家庭への支援の対象と役割について学ぶ 「科目終末試験問題集 8に対応」
19	保育所・幼稚園における在宅子育て家庭への支援について学ぶ 「科目終末試験問題集 8に対応」
20	地域子育て支援拠点事業における在宅家庭への支援について学ぶ 「科目終末試験問題集 8に対応」
21	子ども・子育てに関する法律と制度について学ぶ 「科目終末試験問題集 4に対応」
22	子育て支援に関わるその他の重要な法律について学ぶ 「科目終末試験問題集 4に対応」
23	子育て支援施策の計画について学ぶ 「科目終末試験問題集 4に対応」
24	子ども・子育てを取り巻く新たな動向について学ぶ 「科目終末試験問題集 4に対応」
25	子どもと家庭を支える専門機関と地域活動について学ぶ 「科目終末試験問題集 5に対応」
26	児童相談所、子育てサロン等の内容について学ぶ 「科目終末試験問題集 5に対応」
27	保育所における保育サービス、子育て短期支援事業について学ぶ 「科目終末試験問題集 6に対応」
28	幼稚園における預かり保育事業、その他のサービスについて学ぶ 「科目終末試験問題集 6に対応」
29	レポート指導と科目終末試験対策
30	レポート指導と科目終末試験対策
31	レポート指導と科目終末試験対策
32	レポート指導と科目終末試験対策

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	障害児保育	
コース名	幼児保育コース			担当者	櫻井	
学 年	2年			教科番号	2713	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	「障害児保育」に関する歴史、現状と今後の課題などを保育現場の事例も含めて学び、実際に障害のある子どもの保育を行う上で必要となる基礎的な知識を習得することを目的とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①障害のある子ども一人ひとりの状態をよく理解し、困り感に寄り添い対応するために、障害に対する正しい知識を習得する。 ②障害のある子どもが集団生活を経験する保育所・幼稚園での支援方法を学ぶ。 ③障害のある子どもにとっての「遊び」について考える。 ④障害のある子どもの保護者や家族に対する理解・支援について学ぶ。 ⑤小学校・地域の専門機関との連携についての現状と課題について学ぶ。 					
教材名	尾崎康子・小林 真・水内豊和・阿部美穂子（編） 「よくわかる障害児保育」第2版 ミネルヴァ書房 井村圭壯・今井慶宗（編著）「障がい児保育の基本と課題」学文社 2016					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	主任として幼稚園で勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	20%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	「障害」とは
2	「障害児保育」とは
3	肢体不自由児と視覚・聴覚障害児の理解と支援
4	知的障害児の理解と支援
5	発達障害児の理解と支援 ①注意欠陥・多動性障害(ADHD)とは
6	発達障害児の理解と支援 ②学習障害(LD)とは
7	発達障害児の理解と支援 ③自閉症スペクトラム(ASD)とは
8	発達障害児の理解と支援 ④保育所・幼稚園での具体的支援について
9	児童発達支援施設の見学
10	児童発達支援施設の見学
11	児童発達支援施設の見学
12	児童発達支援施設の見学
13	個々の発達を促す生活や遊びの環境
14	子ども同士の関わりと育ち合い
15	保育過程に基づく個別支援計画の作成と記録および評価
16	職員間の協働
17	保護者や家族に対する理解と支援
18	小学校・地域の専門機関との連携
19	障害のある保育 事例検討①
20	障害のある保育 事例検討②・「障害児保育」の今後の課題

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	子どもの食と栄養	
コース名	幼児保育コース			担当者	川合	
学 年	2年			教科番号	2714	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○		△			
授業概要	乳幼児期から生活習慣の基本となる食習慣を身につけ、病気を予防し健康を維持、増進するためには「食を営む力」を育む「食育」が不可欠です。保育者は胎児期から思春期までの各ライフステージにおける特性、食教育の重要性を理解することを目指します。					
到達目標	①栄養素の機能と食品との関係 ②自分の食生活を振り返り、改善点を見つける。 ③乳幼期の栄養の特徴を知り、乳汁栄養から離乳までの変化を知る。 ④幼児期の心身の発育、発達を理解し、必要な栄養量、間食について学ぶ。 ⑤特別な配慮を要する子どもの食生活、障害児の食生活について学ぶ。 ⑥子どもの食生活の現状と課題を知り、保育者として食育の必要性を学ぶ。 ⑦食育について指導方法と教材について考える。					
教材名	○子どもを知る「子どもの食と栄養」 北大路書房 ○「子どもの食と栄養」 中山書店 ○食事バランスガイド 農林水産省 食事摂取基準2015年					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	病院での管理栄養士としての経験を有する					
履修に あたっての 留意点	前授業での理解度をはかるために、毎回、小テストを実施し、前期末試験で評価する。 食育の一環としての実習をチームワークの一員として参加しているか、評価する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	10%	20%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと多く含む食品。栄養の消化、吸収、代謝について。
2	自分自身の摂取エネルギー量を知り、バランスよい食事をバランスガイドから知る。
3	身体発育・精神運動機能の発達を知る。
4	摂取機能の発達との関連により栄養評価みる。
5	妊婦前の健康状態の重要性
6	妊婦期・授乳期の栄養と食生活(トラブル時も含む)
7	母乳栄養の成分と哺乳量、母乳栄養の利点。人工栄養の調乳法。
8	離乳食の必要性和進め方。離乳食の試食。
9	幼児期の食生活の特徴。間食の意義・質と量。
10	幼児期の栄養上の問題と健康の対応。偏食・下痢・食物アレルギー
11	幼児期の食育のねらい。計画・実施
12	施設における食生活
13	疾病におよび体調不良の子どもへの対応
14	食生活と生活習慣病との関連性・心身の健康と食生活習慣との関連性
15	障害の種別ごとの対応
16	嚥下機能低下の食事形態の工夫
17	集団生活での食事づくりの基本。「体によいおやつとは」実習計画
18	実習:手作りおやつ
19	学校給食の重要性と食育
20	食育の基本
21	子どもの食生活の実態を知る
22	健康支援活動
23	子どもの食と栄養のまとめ
24	定期試験

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育相談	
コース名	幼児保育コース			担当者	長坂	
学 年	2年			教科番号	2715	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>現場に出た際、専門家として子どもや保護者、教職員らとどのような関わりをしていくのかについて、自分の癖や傾向を理解する。 また『相談を受ける』ことはどのようなことであるのかについて、支援に繋がるアプローチを多角的に学ぶ。</p>					
到達目標	<p>相手を理解することは、自分を理解するところから始まる。心身的に健康である自分を保ちながら、教育・福祉現場で対人支援（援助）活動を行っていくために必要となる事柄を以下の観点から学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの教育・福祉現場に携わる専門家として、支援・援助のあり方について理解を深める 2. 専門家となる自分自身のあらゆる癖を知り、支援・援助に生かす土台を作り上げる 3. 心理学、発達心理学、カウンセリング、臨床心理学、教育心理学など、浅く広い知識を支援・援助に生かせるよう習得する 					
教材名	石川洋子編集（2016）子育て支援カウンセリング 幼稚園・保育所で行う保護者の心のサポート 図書文化					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	母子生活支援施設、精神保健福祉センターでの相談員経験を有する					
履修に あたっての 留意点	グループワークや質問をされた際には積極的な発言をし、その場にいる全員が授業に参加し、あたたかい雰囲気を作る努力をする。 教員からの話を単純に「聞く」だけではなく、「感じる」「楽しむ」ことを心がけてほしい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション:担当教員の自己紹介、授業の進め方 学生自身の自己紹介、グループワーク(他己紹介)
2	心理学とは:心理学の誕生と発展、心理学の分野 心理学の中における教育相談:教育相談とは何か
3	アセスメント:心理検査から分かる子どもの理解 性格検査の体験
4	カウンセリングと心理療法:カウンセリングと心理療法の相違点 カウンセリングマインド
5	カウンセリングと心理療法:心理療法各論
6	カウンセリングと心理療法:心理療法各論
7	箱庭・描画:箱庭・描画に関するグループワーク
8	箱庭・描画:箱庭・描画に関するグループワーク(発表とフィードバック)
9	カウンセリング:カウンセリングスキル各論 各スキルの習得のためのグループワーク
10	カウンセリング:各スキル習得のためのグループワーク
11	カウンセリング:各スキル習得のためのグループワーク
12	カウンセリング:各スキル習得のためのグループワーク
13	現場で求められる力:保育園・幼稚園・福祉施設における教育相談の実際と支援
14	養育困難と支援:養育困難の要因と支援(グループワーク)
15	養育困難と支援:虐待と支援(グループワーク)
16	多職種との連携のあり方:子育て支援に関連する職種、子育て支援における連携の重要性
17	多職種との連携のあり方:ケースにみる他職種連携、協働(グループワーク)
18	子どもにみられる精神疾患:子どもの発達と精神疾患
19	子どもにみられる精神疾患:発達障害と支援
20	子どもにみられる精神疾患:発達障害と支援
21	問題のとらえ方と支援:発達障害児や保護者への対応(グループワーク)
22	問題のとらえ方と支援:発達障害児や保護者への対応(グループワーク)
23	事例にみる子育て支援のあり方:具体的な事例から考える支援(グループワーク)
24	事例にみる子育て支援のあり方:具体的な事例から考える支援(グループワーク)
25	事例にみる連携のあり方:具体的な事例から考える多職種との連携(グループワーク)
26	コラージュ:コラージュ制作
27	レポート対策:これまでのまとめとレポート対策
28	レポート対策:論述添削
29	援助者自身のケア:福祉教育現場にみられる援助者の特徴と自分の癖 ストレスマネジメント
30	試験対策:これまでのまとめと試験対策
31	試験対策:論述添削
32	予備日

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育相談支援	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	2年			教科番号	2716	単位数 1.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育相談支援の意義と原則と、保育の専門家としての支援を理解する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育相談支援の意義と原則について理解する。 ・ 保護者支援の基本を理解する。 ・ 保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 ・ 保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。 					
教材名	知らないトラブルになる！配慮の必要な保護者への支援 学研					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	10%	30%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	保護者に対する保育相談支援の意義と保育の特性と保育士の専門性を生かした支援
2	事例に基づくグループディスカッション
3	子どもの最善の利益と福祉の重視
4	保護者の養育力の向上に資する支援
5	信頼関係を基本とした受容的かわり、自己決定、秘密保持の尊重
6	事例に基づくグループディスカッション 2
7	地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力
8	保育に関する保護者に対する指導と保護者支援の内容・保護者支援の方法と技術
9	保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス
10	保育所における保育相談支援の実際 保育所における特別な対応を要する家庭への支援
11	児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援
12	障がい児施設、母子生活支援施設等における保育相談支援

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育実習Ⅰ事前事後指導（保育所）	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	2年			教科番号	2717	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△	○				
授業概要	保育実習（保育所）を円滑に行うために必要な事項を学習する。					
到達目標	保育実習（保育所）の意義・目的・内容といった保育実習の全体的な枠組みを理解する。 実習前にすべき事項・心構えを理解する。 実習後の反省と課題を確認する。					
教材名	幼稚園・保育園・児童福祉施設等実践ガイド（近畿大学九州短期大学通信教育部テキスト）					
資格の 取得目標	保育士としての資質とを理解し学習する。					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員					
履修に あたっての 留意点	欠席しない。 まじめに取り組む。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育実習とは何か基本的理解。
2	演習(絵本の読み聞かせ)と反省と評価
3	演習(絵本の読み聞かせ)と反省と評価
4	演習(絵本の読み聞かせ)と反省と評価
5	演習(絵本の読み聞かせ)と反省と評価
6	演習(絵本の読み聞かせ)と反省と評価
7	赤ちゃんの沐浴と授乳の演習
8	演習(紙芝居の実演)と反省と評価
9	演習(紙芝居の実演)と反省と評価
10	演習(紙芝居の実演)と反省と評価
11	演習(紙芝居の実演)と反省と評価
12	演習(紙芝居の実演)と反省と評価
13	保育所実習直前の留意事項の再確認
14	保育所実習を終えて反省会
15	保育所実習を終えて課題を確認
16	総括

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育実習Ⅰ事前事後指導（施設）	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	2年			教科番号	2718	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△	○				
授業概要	2年次で決定する保育実習Ⅰ（施設）選択に向けた、施設理解を深める。2年次の保育実習Ⅰの総まとめの授業及び、3年次の責任実習に向けた授業を実施する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの授業、実習を基に子どもの発達に合わせた指導案を作成できる ・ 実習の目的を理解しねらいと課題を設定できる ・ 3年次に実施する保育実習Ⅰ（施設）に向けた施設理解を深める。 ・ 3年次の責任実習を見据えた振り返りの時間とし、自分の課題点を認識する 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	振り返りシートを記入し自分の実習生活を振り返る
2	振り返りシートを活用し自分自身の課題点を知る
3	課題点克服の為の計画を作成する
4	課題点克服の為の計画を作成する
5	児童養護施設への理解を深める
6	児童養護施設への理解を深める
7	乳児院への理解を深める
8	乳児院への理解を深める
9	障害者支援施設についての理解を深める
10	障害者支援施設についての理解を深める
11	重症心身障害児施設についての理解を深める
12	重症心身障害児施設についての理解を深める
13	実習先決定に伴う面談と決定
14	実習先決定に伴う面談と決定
15	実習先決定に伴う面談と決定
16	実習先決定に伴う面談と決定
17	責任実習の指導案作成方法を学ぶ
18	責任実習の指導案作成方法を学ぶ
19	責任実習の指導案作成方法を学ぶ
20	責任実習の準備を実施
21	責任実習の準備を実施
22	責任実習の準備を実施
23	責任実習の準備を実施
24	責任実習の準備を実施

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育実習事前事後指導	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	2年			教科番号	2719	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△	○				
授業概要	教育実習の事前・時度指導として、幼稚園の機能や内容教育実習の目的や意義を理解し、教育実習に対する意欲や課題意識を高める。					
到達目標	幼稚園とは、その内容・機能を理解する。 実習の意義・目的・内容といった実習の全体的な枠組みを理解する。 実習までの準備。 実習中の留意事項について学ぶ。 実習後の反省・課題をまとめる。					
教材名	教育実事前事後指導・近畿大学九州短期大学通信学部テキスト					
資格の 取得目標	幼稚園教諭としての自覚を意識する。					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員					
履修に あたっての 留意点	欠席しない。 まじめに取り組む。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	教育実習とは何か基本的理解
2	演習(絵本・紙芝居の読み聞かせ)と反省会・評価
3	演習(絵本・紙芝居の読み聞かせ)と反省会・評価
4	演習(絵本・紙芝居の読み聞かせ)と反省会・評価
5	演習(絵本・紙芝居の読み聞かせ)と反省会・評価
6	演習(絵本・紙芝居の読み聞かせ)と反省会・評価
7	実習直前の留意事項の確認
8	実習を終えての反省会
9	実習を終えての課題確認
10	子どもの遊びの展開
11	子どもの遊びの展開
12	子どもの遊びの展開
13	子どもの遊びの展開について図式化する。
14	責任実習の理解
15	責任実習の理解
16	総括

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	表現基礎 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	2年			教科番号	2720	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	<p>工芸制作、絵本制作、玩具制作、マニュアル作成『図画工作』と『造形表現指導法』の橋渡しとして、『作る』と『作らせる』の両方から考える。試験は行わず課題提出</p>					
到達目標	<p>(1) 身近なものと造形を結びつけたものを表現できるようにする。(2) 幼児・児童などを教育する上で必要な、作ることの「楽しさ」や「おもしろさ」「動機付け」を考えられるようにする。(3) 材料の準備（手配に関すること・廃物利用など）や注意点、安全性・経済性など、制作周辺の環境なども考えられるようにする。(4) 制作するプロセスを考え、それを分かりやすく伝える力を身につける。(5) 幼児造形様式の特徴と発達一覧表を作り理解できるようにする。</p>					
教材名	幼児造形教育の歴史と原理（亀田洋二著）・過去の作品資料					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	材料の特性・工夫・安全性の知識・チャレンジ性・授業態度					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	遊びのサイコロ考案 展開図・サイコロ木材の入手・考案から具体的制作までのプロセスの理解・アイデア
2	同／仕入れ・及び下地加工／アイデア
3	同／制作
4	同／制作・仕上げ
5	絵本制作／蛇腹絵本制作／アイデア
6	同／紙購入・裁断／制作
7	同／制作
8	同／制作・仕上げ
9	動く玩具／材料手配やりサイクル利用・材料準備
10	同／制作
11	同／制作
12	同／マニュアル作成
13	幼児造形様式の特徴と発達／「こどもはえがく」スライド／レポート
14	幼児造形様式の特徴と発達一覧表／A3上質紙に表作成
15	同／こどもの絵の特性を貼り付けていく
16	同／色彩についての特徴を記入する

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	図画工作	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	2年			教科番号	2721	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	図画工作に関する造形教育史、幼児造形原理、造形指導計画レポート 1日動物園写生実習（スクーリング）授業内に造形教育史の試験あり					
到達目標	（1）1年次の美術的実習をふまえ、図画工作をあらためて教育的見地（造形教育史、造形原理）を習得し、教育史観を持てるようにする。（2）指導計画においては計画書の作成。行事や実習で学んだ知識を踏まえ、準備や安全性などを考慮して考案できるようにする。					
教材名	幼児造形の歴史と原理（亀田洋二著）・子どもはえがく（斉藤公子著）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	創作することへの理解。造形史・造形教育原理の理解。指導計画書の発案、授業態度					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	図画工作教育概論1／幼児造形教育史 欧米の造形教育史
2	図画工作教育概論1／幼児造形教育史 欧米の造形教育史
3	図画工作教育概論2／幼児造形教育史 日本の造形教育史
4	図画工作教育概論2／幼児造形教育史 日本の造形教育史
5	図画工作教育概論3／幼児造形原理・指導計画
6	図画工作教育概論3／幼児造形原理・指導計画
7	図画工作教育概論まとめ/指導計画 指導案の作成
8	図画工作教育概論まとめ/指導計画 指導案の作成

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	リズム表現（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	鈴木	
学 年	2年			教科番号	2722	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体や動きで、リズムや様々なものを表現することを学ぶ ・ ダンスの振り付け 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なステップや動きの習得 ・ リズム体操の指導が出来る ・ フォークダンスの実践 ・ 様々なものを動きで表現出来る ・ お遊戯会の開催 					
教材名	プリント配布					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	日本健康運動指導士会で健康運動支援士としての経験					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	・エアロビクスダンス・リズムダンス
2	・音楽のイメージに合った動きづくり・体の各部位を使ったリズムとり
3	・自然、動物、生活、感情などを動きで表現する
4	・様々なフォークダンス
5	・曲の選択・ダンスの振り付けについて
6	・ダンスの振り付け
7	・作成したダンスの指導、発表
8	・スポーツレクリエーション

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	情報処理Ⅲ	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	2年			教科番号	2723	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトWordやExcelを利用して、実務レベルの書類や資料作成を学ぶ					
到達目標	<p>①実習後のお礼状の書き方、マナー、作成方向を学ぶことができる。</p> <p>②園だよりの作成ができる。</p> <p>③実務で活用できる機能について学ぶことができる。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・実教出版「30時間でマスター Word 2016」 発行者：戸塚雄式 ・実教出版「30時間でマスター Excel 2016」 発行者：戸塚雄式 					
資格の取得目標						
授業内容と教員の実務経験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。忘れた場合は、授業前に申し出ること。 ・スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。 ・授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	学習目標、ブラインドタッチ練習、入力測定(10分)、お礼状の書き方、マナー、作成
2	お礼状の作成、シナリオの作成
3	園だよりの作成「かまくら通信」の作成
4	〃
5	Excelのテキストから 7章データベースの復習
6	7章 ピボットテーブル
7	〃
8	〃
9	行列・検索関数(VLOOKUP関数)
10	〃
11	〃
12	データベース関数(1)
13	データベース関数(2)
14	データベース関数(3)
15	条件付き集計(SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF関数)(1)
16	条件付き集計(SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF関数)(2)
17	条件付き集計(SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF関数)(3)
18	関数練習問題
19	保育・教職実践演習発表会の見学
20	Word、Excelの総まとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育実習 I（保育）	
コース名	幼児保育コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2724	単位数 5.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	<p>保育士資格を取得するために児童福祉施設（主に保育所）で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を学ぶ。①保育所における1日の流れ②子どもへの理解を深める③保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとしての自覚を高める</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場で保育実習を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することが出来る。 ・ 実践を通じて保育の技術、能力を向上させる。 ・ 自分なりの保育観や子ども観を深め確立させる。 					
教材名	保育実習日誌、保育実習事前事後指導					
資格の取得目標	保育士資格					
授業内容と教員の実務経験の関連性						
履修にあたっての留意点	<p>保育実習事前事後指導・幼児と音楽表現・以下の指導法①人間関係②健康③環境④言葉⑤造形表現⑥音楽表現（指導法）・教育心理学・幼児の心理学・教育原理・保育原理・社会的養護Ⅰ・子ども家庭福祉、全ての科目を履修していることが実習にでる要件です。その他の要件は近大の学習便覧で確認すること。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	50%	0%	20%	30%	100%

回数	講義内容
1	以下の観点から保育所における保育がどのようになされているかを理解する
2	①保育所の内容、機能について理解する(保育所の1日の流れやプログラムの理解等)
3	②保育所における子どもの理解。(月齢・年齢ごとの子どもの発達とその特徴など)
4	③保育所における保育者の職務内容、役割などを理解する。
5	④日誌や指導案の書き方を学ぶ。
6	担当保育者の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	''
34	''
35	''
36	''
37	''
38	''
39	''
40	''

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育実習②	
コース名	幼児保育コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2725	単位数 5.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	<p>専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら実践的指導力を体験的にまた総合的に高めていくことを目標とする。この目標を達成するために観察・参加、部分実習をおこなう。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。 ・ 幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解する。 ・ 幼稚園での1日の今日行く活動を振り返り観察記録を作成することができる。 ・ 部分実習の指導計画を立案することができる。 					
教材名	教育実習事前指導					
資格の 取得目標	幼稚園教諭2種免許状					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<p>教育実習事前事後指導・幼児と音楽表現・以下の指導法①人間関係②健康③環境④言葉⑤造形表現⑥音楽表現（指導法）・教育心理学・幼児の心理学・教育原理・教育課程総論・教育方法論・教職概論、全ての科目を履修していることが実習にできる要件です。その他の要件は近大の学習便覧で確認すること。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	50%	0%	20%	30%	100%

回数	講義内容
1	以下のような観察視点方から幼稚園においてどのような活動が、どのような方法で行われているかを把握するに努める。
2	①幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要
3	②遊び・生活場面での園児の行動
4	③園児の行動に対する幼稚園教諭の対応
5	指導教諭の指導と助言を受けながら、教育活動や園務に積極的に従事する
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	''
34	''
35	''
36	''
37	''
38	''
39	''
40	''

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	キャリアデザインⅡ	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	2年			教科番号	2726	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<p>社会人としての基本的な考え方を習得する。そのため、自己実現へ向けての個別ガイダンスを実施し、社会人になるための協調性を身につける。 初めての実習での心構えを学び実習（保育実習、教育実習）の意義を理解する。 ミスマッチのない就職先の選択ができるよう自己理解を深める。その為、実習評価のフィードバックと振り返りの時間を重視する。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分のアルスでの目標を実現するために、何をすべきか話することができる。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 時間を守ることができるようになる。 4. ビジネススーツがきちんと着こなすことができるようになる。 5. 社会人として通用する立ち居振る舞いができるようになる。 6. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができるようになる。 7. 就職活動について、自ら報告・連絡・相談ができるようになる。 8. 就職活動を見越し保育・教育・福祉分野でのボランティア活動に自ら参加する意欲が持てるようになる。 9. 実習での振り返りが自分自身でできるようになる。 					
教材名	保育の基本用語 幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育実習・幼稚園実習の履歴書作成
2	保育実習・幼稚園実習の履歴書作成
3	保育実習・幼稚園実習の履歴書作成
4	保育実習・幼稚園実習の履歴書作成
5	1. オリエンテーションの電話の掛け方指導 2. オリエンテーションの電話がけ
6	1. オリエンテーションの相談内容の確認 2. 服装等の身だしなみ確認
7	・実習にあたっての注意事項 ・事前オリエンテーションについて
8	・実習にあたっての注意事項 ・事前オリエンテーションについて
9	保育実習準備(ペープサート作成)
10	保育実習準備(ペープサート作成)
11	保育実習準備(ペープサート作成)
12	保育実習準備(ペープサート作成)
13	実習準備(手作りおもちゃ作成)
14	実習準備(手作りおもちゃ作成)
15	実習準備(手作りおもちゃ作成)
16	実習準備(手作りおもちゃ作成)
17	学校見学祭の企画立案
18	学校見学祭の企画立案
19	学校見学祭の企画立案
20	学校見学祭の企画立案
21	・実習日誌の書き方指導
22	・実習日誌の書き方指導
23	保育実習報告会
24	保育実習報告会
25	お礼状の書き方について
26	お礼状を作成する
27	保育実習フィードバック・学校見学祭の準備
28	保育実習フィードバック・学校見学祭の準備
29	保育実習フィードバック・学校見学祭の準備
30	保育実習フィードバック・学校見学祭の準備
31	夏休みのボランティア活動について確認
32	夏休みのボランティア活動について確認

回数	講義内容
33	ボランティア活動の報告発表
34	ボランティア活動の報告発表
35	教育実習にあたって ・実習日誌の書き方 他
36	教育実習にあたって ・実習日誌の書き方 他
37	担任と来年度の実習先の相談をし決定する・就職指導(個人ガイダンス)
38	担任と来年度の実習先の相談をし決定する・就職指導(個人ガイダンス)
39	担任と来年度の実習先の相談をし決定する・就職指導(個人ガイダンス)
40	担任と来年度の実習先の相談をし決定する・就職指導(個人ガイダンス)
41	・お礼状・レポート作成
42	・お礼状・レポート作成
43	1. 教育実習の反省点を洗い出す 2. 実習の報告発表
44	1. 教育実習の反省点を洗い出す 3. 実習の報告発表
45	1. 自己ブランディング 3-3-3 「自分はどんな職業人をめざすのか」
46	1. 自己ブランディング 3-3-4 「自分はどんな職業人をめざすのか」
47	1. 自己ブランディング 3-1-1 「自分の仕事能力をどうやって説明するか」
48	1. 自己ブランディング 3-1-2 「自分の仕事能力をどうやって説明するか」
49	面接試験とその対策
50	〃
51	〃
52	〃
53	〃
54	〃
55	〃
56	〃
57	〃
58	〃
59	〃
60	〃
61	〃
62	〃
63	〃
64	〃

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	企業実習	
コース名	幼児保育コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2727	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
			○			
授業概要	企業や病院でのインターンシップ（保育科はボランティア活動）					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。 					
教材名	補助プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	10%	10%	30%	50%	100%

回数	講義内容
1	事前学習:1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習:1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	"
5	"
6	"
7	"
8	"
9	"
10	"
11	"
12	"
13	"
14	"
15	"
16	"
17	"
18	"
19	"
20	"
21	"
22	"
23	事後実習:1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出
24	事後実習:1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出